

藏内会長，世界へ

本年4月21～24日に開催された第41回世界獣医師会大会2026（WVAC 東京大会）では皆様に本当にお世話になりました。多くの方からご支援やご協力をいただきながら，無事に大会を終えることができ，さまざまな形でこの大会を支えて下さった皆様に事務局一同心から感謝しています。

WVAC 東京大会の初日，4月21日の午後には東京国際フォーラム内で世界獣医師会の総会が開催され，日本獣医師会の藏内会長が世界獣医師会の会長に就任しました。藏内会長は2年前に世界獣医師会の次期会長選挙に勝利し，これまで次期会長として世界獣医師会を牽引してきましたので，満を持しての登板となります。

藏内会長は世界獣医師会会長として，早速，5月18日の週にパリで開催された国際獣疫事務局（WOAH）総会に参加し，エマニュエル・スベラン事務局長を筆頭とするWOAHの幹部との会合などを行いました。（スベラン事務局長はWVAC 東京大会のオフィシャルディナーで乾杯のご発声をされた方ですのでご記憶の方も多いかと思います。）

スベラン事務局長は，藏内世界獣医師会会長との会談冒頭においてWVAC 東京大会の開会式が両陛下及び愛子内親王のご臨席のもと盛大に開催されたことに言及し，世界の獣医師の地位向上に資するものとして高く評価をされていました。

また，世界獣医師会は（そのメンバーである日本獣医師会も）クリニックを開業している獣医師，民間企業の獣医師，公的機関の獣医師などさまざまな職種の獣医師全体が会員である一方，WOAHは各国政府の獣医師が代表を務める組織であることから，同じ目標に向けて取り組む獣医

師同士，今後も連携して課題に取り組んでいくことが重要と述べました。

藏内会長からはワンヘルスの理念に基づき医師会等との連携によりわれわれを取り巻く課題の解決を図り，獣医師の社会的地位向上につなげたいとの考えが示されました。

今回，WOAH 総会全体を通じ動物衛生（Animal medicine）への投資の重要性が多くの場面で語られており，スベラン事務局長自身の挨拶等の中でも繰り返し述べられた「動物衛生に要する費用はコストではなく投資である」という言葉がとても印象的でした。

また，6月2日には藏内会長が世界獣医師会会長として出席する初めての世界獣医師会評議員会（理事会のようなものとお考え下さい）がオンラインで開催され，新たに選出された評議員らとともに，今後2年間，世界獣医師会の取組を進めるための体制づくりについて議論しました。

ジェンダーのバランス，地域のバランス，そして個々の希望や経験・能力など多くの要素が複雑



WOAH 幹部の皆さまと

に絡むため、それを一つにまとめることは決して簡単ではありませんが、最終的には出席した評議員全員が納得する案が仕上がりました。次回は7月に米国のカリフォルニアでの開催が予定されています。

今回は、世界獣医師会の会長に着任した藏内会長の取組についてご紹介してみました。

まだ着任されたばかりですが、早速さまざまな取組が進んでいることを感じていただけたのではないのでしょうか。

世界獣医師会大会 2026（東京大会）は終了しましたが、本欄では引き続き、日本獣医師会の国際的な取組を紹介していきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。